

# シメチジン注 200mg「NP」

## 配合変化試験

～pH 変動試験～

## シメチジン注 200mg「NP」の pH 変動試験

## 1. 試験目的

シメチジン注 200mg「NP」は、シメチジンを有効成分とする H<sub>2</sub>受容体拮抗剤である。  
今回、本製剤の pH 依存性の配合変化を予測するために pH 変動試験を実施したので報告する。

## 2. 試料

シメチジン注 200mg「NP」

3. 試験方法<sup>1)</sup>

シメチジン注 200mg「NP」1 管 (2mL) をとり、0.1mol/L 塩酸または 0.1mol/L 水酸化ナトリウム水溶液をもって滴定し、持続的な外観変化が認められた pH (変化点 pH) および滴定量(mL)を測定した。10mL の両試液を滴加しても何ら外観変化の見られない場合、その時点の pH を測定した (最終 pH)。

## 4. 試験結果

試料名	試料 pH	変化点までに要した mL 数	最終 pH または 変化点 pH	pH 移動指数	変化所見
シメチジン注 200mg「NP」	5.31	0.1mol/L HCl 10	1.77	3.54	変化なし
		0.1mol/L NaOH 10	10.06	4.75	変化なし

## 5. 参考文献

1) 幸保文治、注射薬を考える (1988)、メディカルトリビューン